

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年 6月 28日

群馬県知事 あて



提出者

住 所 東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビススバルビル

氏 名 株式会社SUBARU

代表取締役社長 大崎 篤

代理者 株式会社SUBARU群馬製作所長 渡邊 郁夫

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0276-26-2530(総務部環境課)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

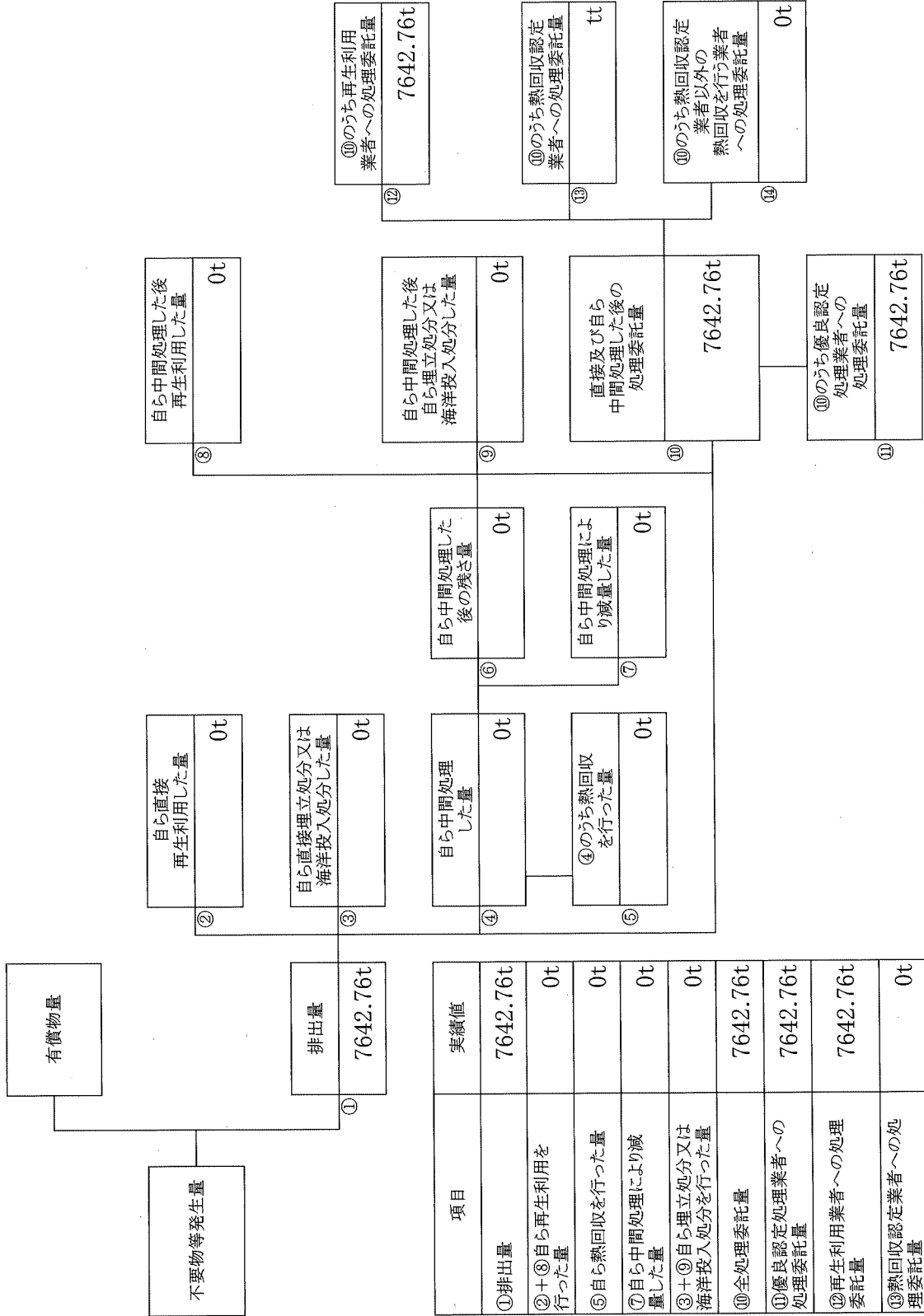
事業場の名称	株式会社SUBARU群馬製作所 大泉工場
事業場の所在地	〒370-0531 群馬県邑楽郡大泉町いずみ1-1-1
事業の種類	E 製造業 31 輸送用機械器具製造業 3111 自動車製造業(二輪自動車を含む)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10120.98t	全処理委託量	10120.98t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	9597.25t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	10120.98t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

※事務処理欄

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃油)



項目	実績値
①排出量	7642.76t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	7642.76t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7642.76t
⑫再生利用業者への処理委託量	7642.76t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら中間処理した後再生利用した量	0t
------------------	----

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0t
----------------------------	----

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	7642.76t
---------------------	----------

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	7642.76t
---------------------	----------

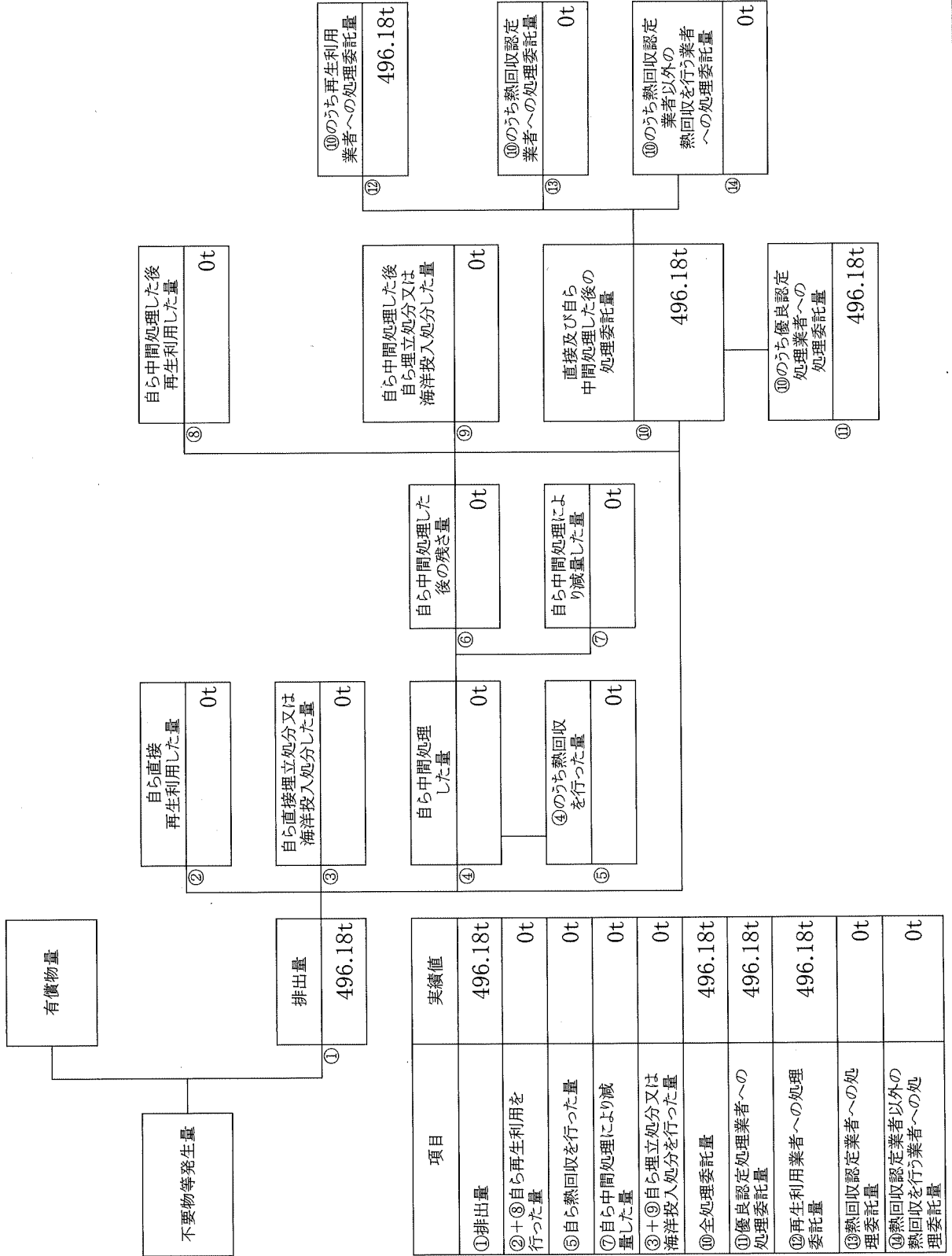
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	7642.76t
-------------------	----------

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
--------------------	---

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
-------------------------------	----

(産業廃棄物の種類：汚泥)

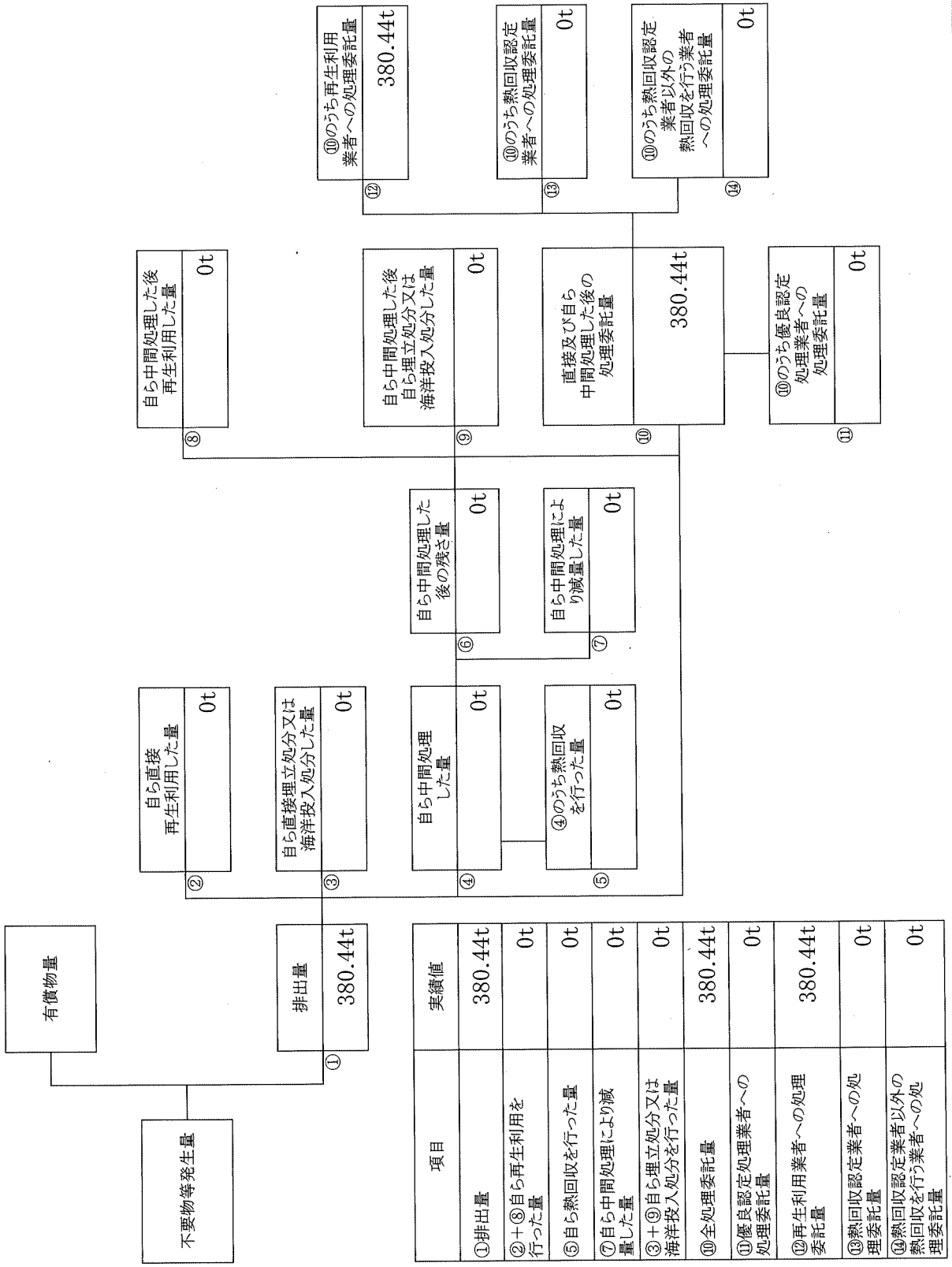
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	496.18t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	496.18t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	496.18t
⑫再生利用業者への処理委託量	496.18t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

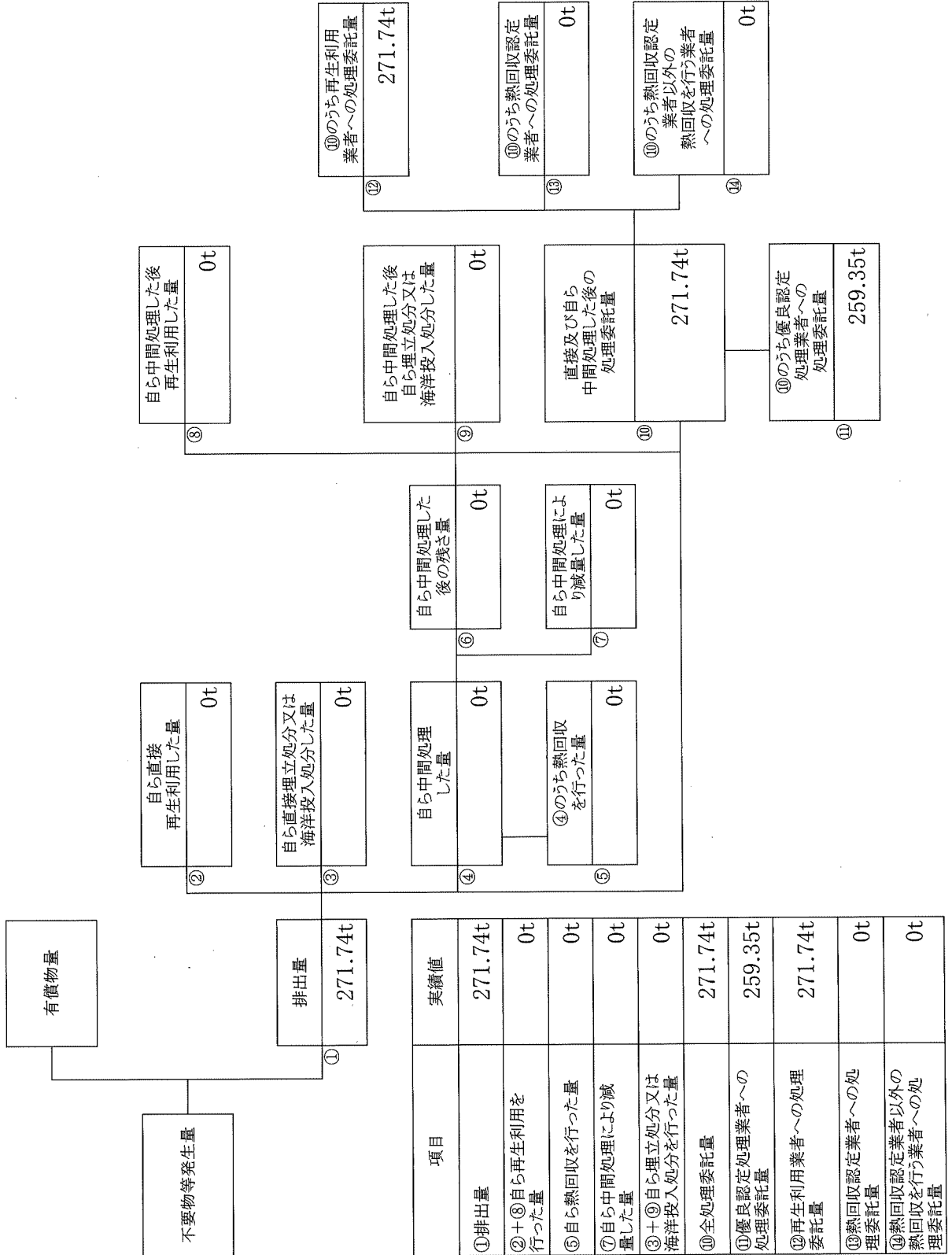
計画の実施状況



排出量	380.44t
①	

項目	実績値
①排出量	380.44t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	380.44t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	380.44t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



不要物等発生量	
有償物量	
排出量	271.74t

自ら再生利用した量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0t

自ら中間処理した後の再生利用した量	0t
-------------------	----

自ら中間処理した量	0t
④のうち熱回収を行った量	0t

項目	実績値
①排出量	271.74t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	271.74t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	259.35t
⑫再生利用業者への処理委託量	271.74t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

⑫のうち再生利用業者への処理委託量	271.74t
-------------------	---------

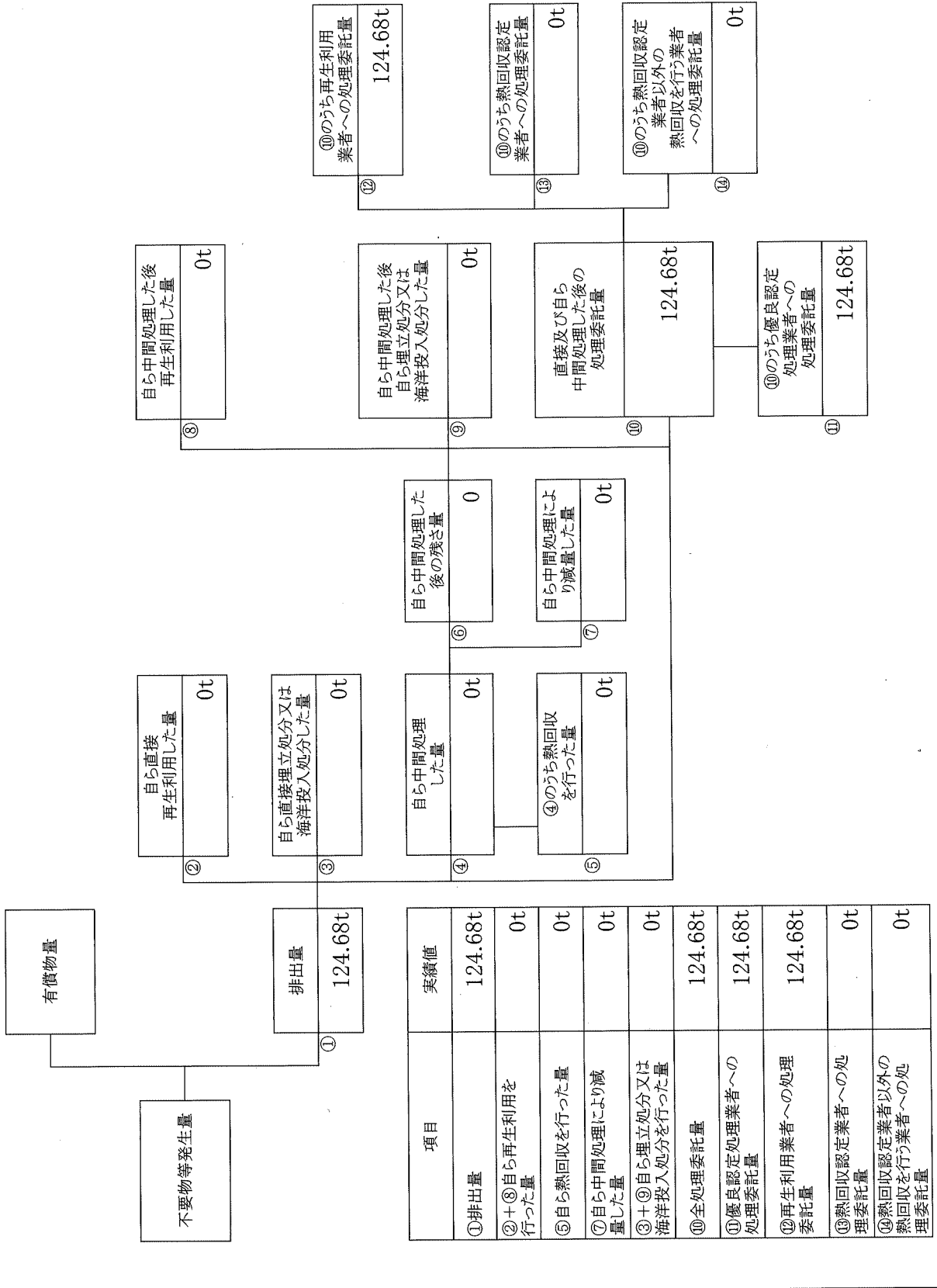
⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t
--------------------	----

⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
-------------------------------	----

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	259.35t
---------------------	---------

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

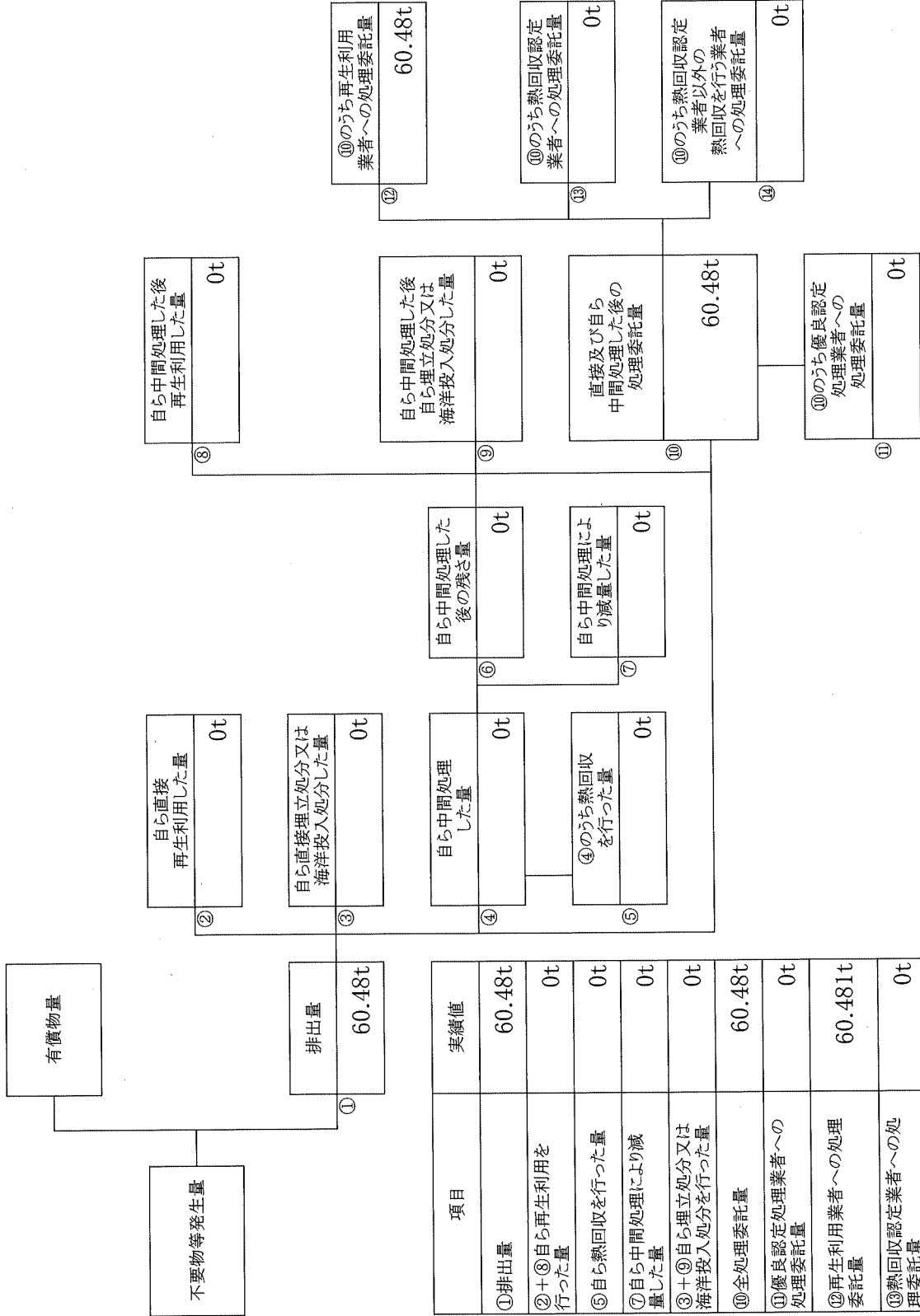
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	124.68t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	124.68t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	124.68t
⑫再生利用業者への処理委託量	124.68t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

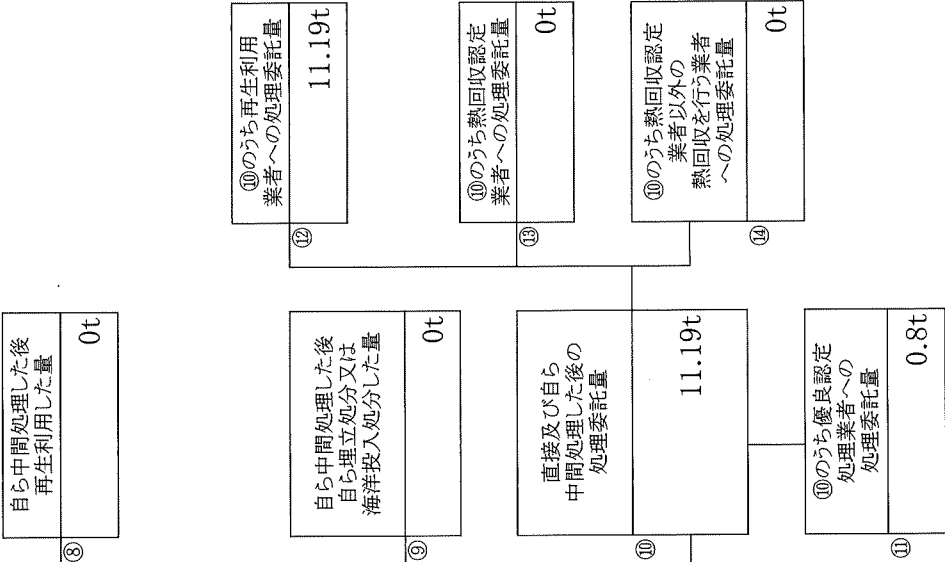
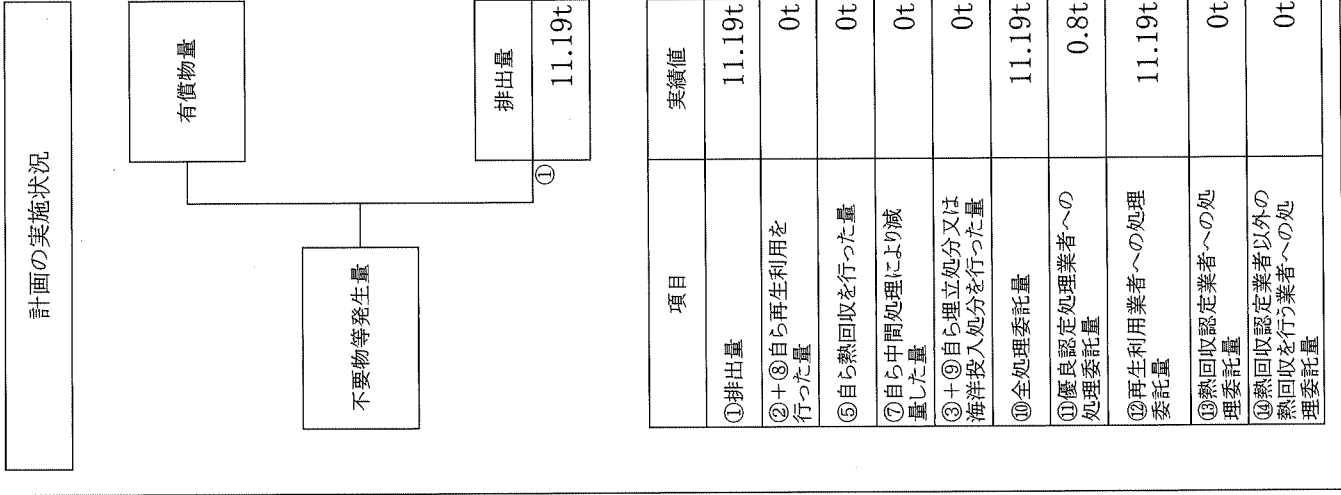
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



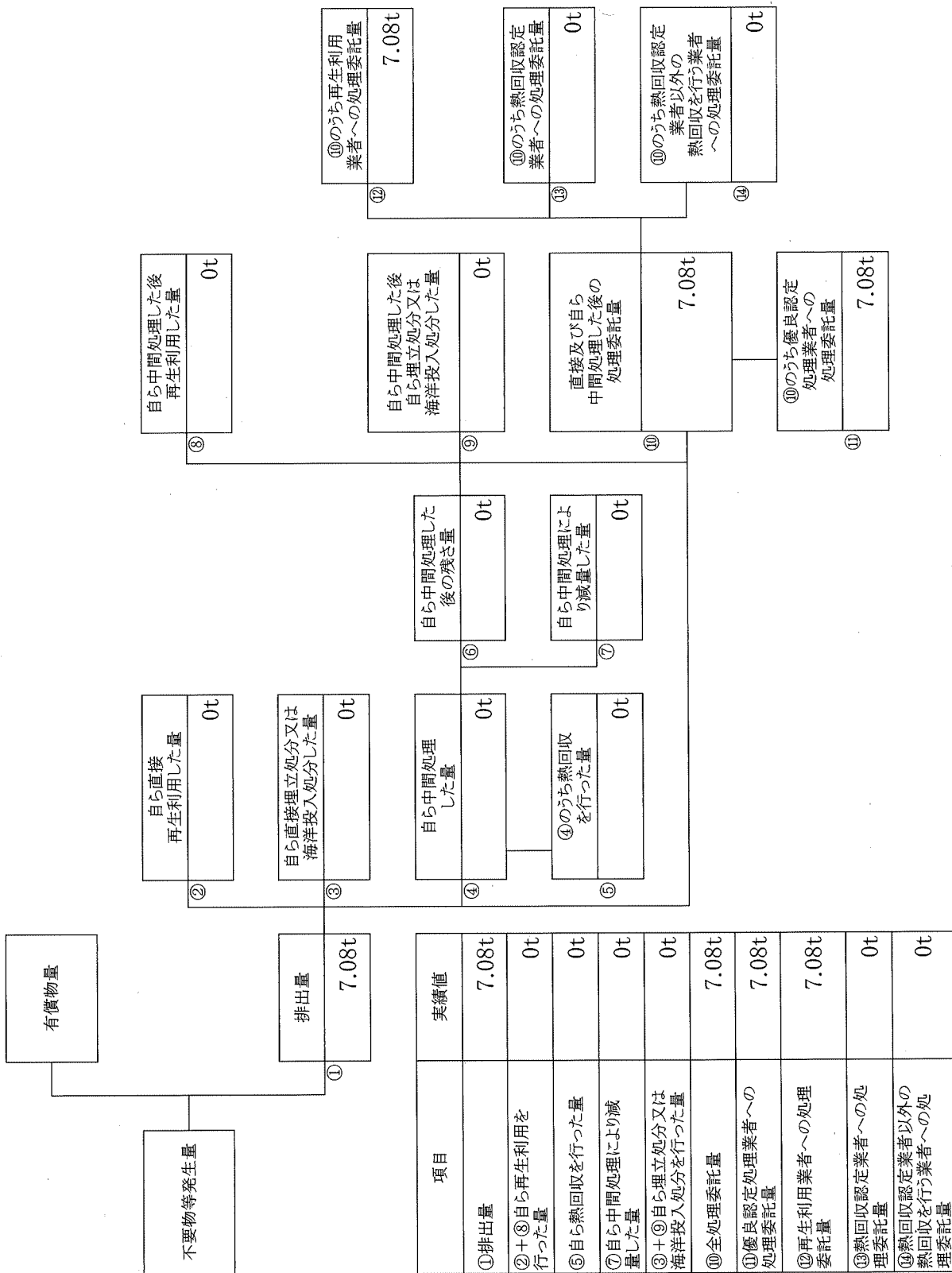
項目	実績値
①排出量	60.48t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	60.48t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.481t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0t

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



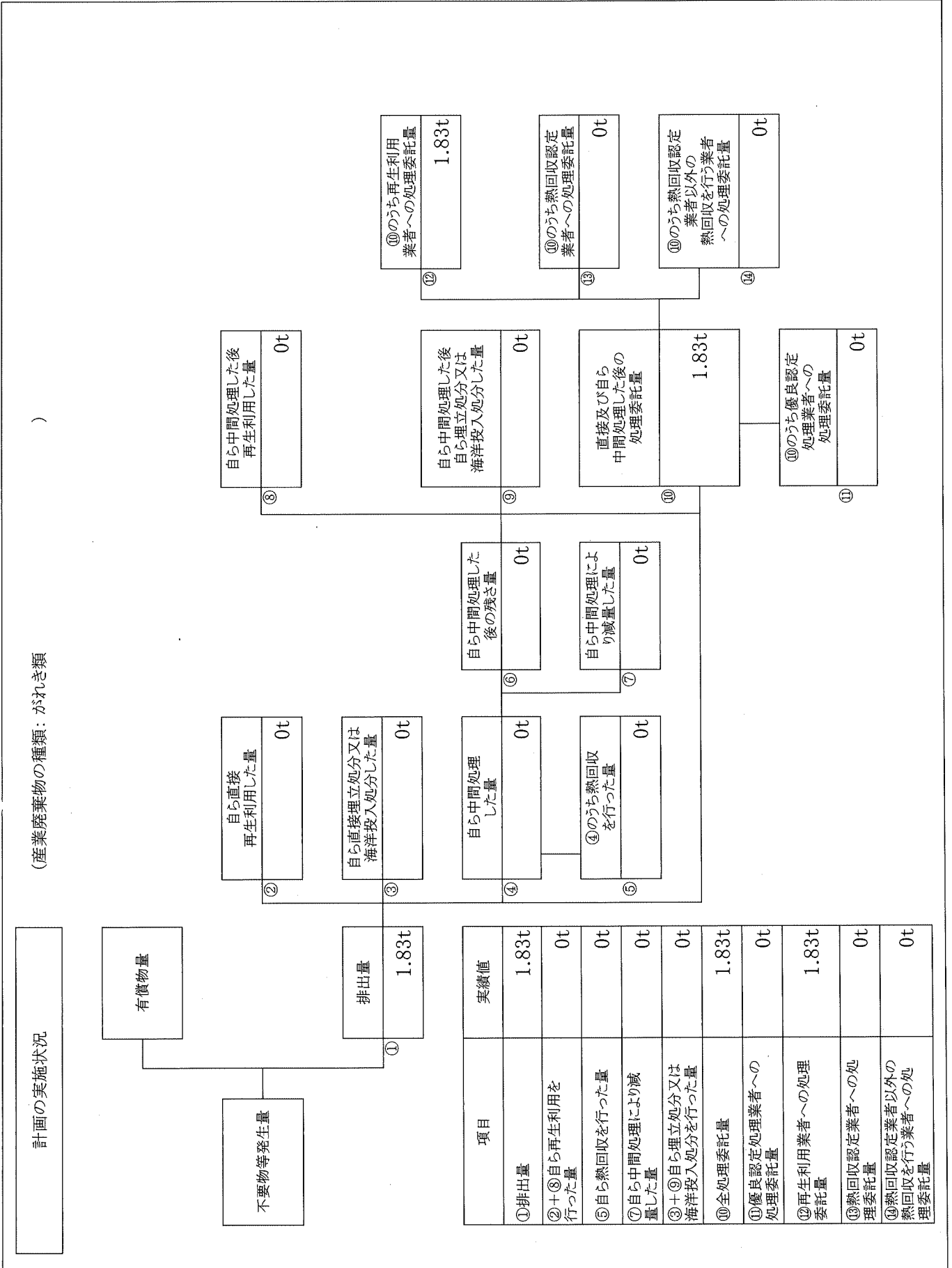
項目	実績値
①排出量	11.19t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	11.19t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.19t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃酸)

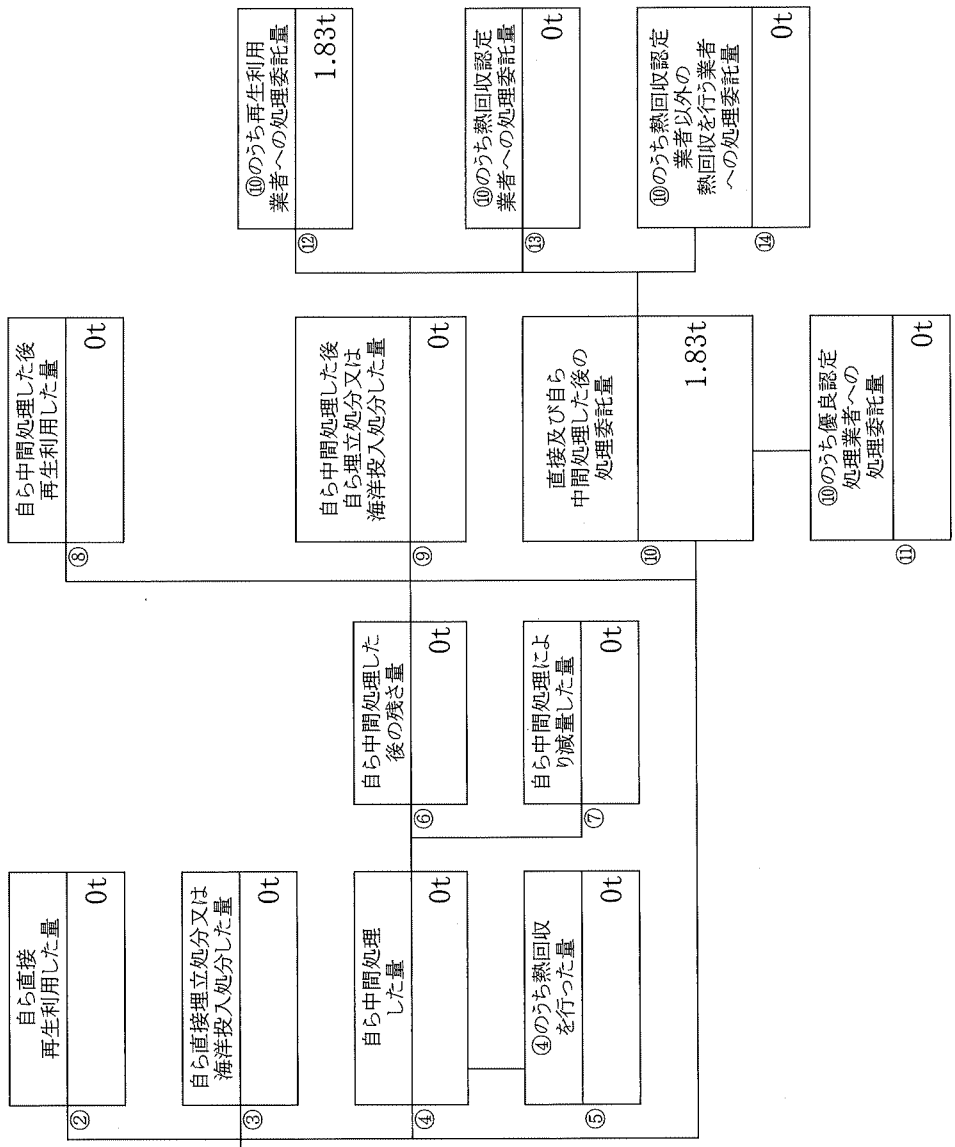


項目	実績値
①排出量	7.08t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	7.08t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.08t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.08t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

(産業廃棄物の種類: がれき類)



項目	実績値
①排出量	1.83t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1.83t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.83t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	1.83t
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0t
---	---------------------	----

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。